

中竹野地区コミュニティ準備委員会



中竹野地区

地区の概況

人口	680人	小学校	中竹野小学校（児童数 31人）
世帯数	228世帯	中学校	なし（竹野中学校区）
高齢化率	35.8%	幼稚園	なし
集落数	9	保育園	なし
		こども園	竹野認定こども園（園児数 77人）

組織の状況

代表者名	木瀬 堯后
会の構成	区長、前区長、公民館、公民館協力委員、市議会議員、農会代表、女性の会代表、消防団（計 32名）

これまでの経過

*平成 26 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	5月 第1回準備委員会	地域コミュニティの必要性、役員選出、組織名称協議
	6月 第2回準備委員会	アドバイザー紹介、アドバイザーによる今後の取組み説明
	7月 出前講座&ワークショップ	中竹野の良いところ、悪いところ
	8月 第3回準備委員会	ワークショップ結果の分析、先進地視察協議
	9月 第4回準備委員会	まちむら探検協議
	9月 第5回準備委員会	作野先生との意見交換会
	10月 第6回準備委員会	まちむら探検協議、準備委員会規約協議
H 27	11月 第7回準備委員会	まちむら探検打合せ、準備委員会の進め方協議
	11月 まちむら探検	地区内探検、ワークショップ、報告会
	2月 第8回準備委員会	委員（区長）交代に伴う経過説明と意見交換
	3月 第9回準備委員会	まちむら探検の取組みとその活用方法
	4月 第10回準備委員会&ワークショップ	お宝の活用方法と課題の具体化
	5月 第11回準備委員会	前回ワークショップの検討
	5月 先進地視察研修	与布土地域（朝来市）、神河町空き家再生事例
	6月 第12回準備委員会	地域づくり構想のスケジュール
	7月 第13回準備委員会	次回ワークショップの検討
	8月 第14回準備委員会	こんにやく試食会（委員向け）
H 28	9月 第15回準備委員会&ワークショップ	地域づくりプロジェクト検討
	10月 第16回準備委員会	地域づくり構想スケジュール
	11月 第17回準備委員会&ワークショップ	プロジェクトの絞り込み、具体化
	12月 第18回準備委員会	地域づくり構想協議
	1月 第19回準備委員会&ワークショップ	地域づくり構想たたき台について検討
	2月 第20回準備委員会	次回ワークショップの検討
	3月 第21回準備委員会&ワークショップ	地域づくり構想仕上げ

分野別取組み内容

地域振興

- ①河川愛護活動
- ②ジャンボ巻きずし大会
- ③子どもの見守り活動
- ④まちむら探検
- ⑤準備委員会だよりの発行

地域防災

- ①消防団による活動
- ②自主防災組織による活動

地域福祉

- ①敬老会
- ②サロン活動
- ③ふれあい喫茶

人づくり

- ①中地区総合体育大会
- ②文化祭
- ③三世代交流グラウンドゴルフ大会
- ④早起きラジオ体操
- ⑤子ども 110 番の家の整備
- ⑥定期パトロール
- ⑦公民館各種教室

コミュニティの取組み



モデル地区の取組みをどのように進めていけばよいのか悩んでいたところ、「まずは地域の皆さんが中竹野地区のことをどのように思っているか意見を聞いてみては？」というアドバイザーの勧めもあり、ワークショップを開催しました。ワークショップでは 49 人の参加者が中竹野地区の「良いところ」と「改善が必要なところ」について意見を出し合い、発表することで参加者が相互に想いを共有し、最初の一步を踏み出すことができたと感じました。

また、ワークショップで出された意見について、実際に目で見て、肌で感じてもらうために「まちむら探検」を実施しました。小学生からお年寄りまで 36 人が参加し、6 班に分かれて地区内を探検しました。

探検後は班ごとに結果を地図にまとめ、撮った写真をスクリーンに映しながら見てきた内容を発表しました。地区の名所やお宝などを住民で再発見する良い機会となりました。今後は、この結果を地域づくりにどう生かしていくかを検討していきます。

昭和 52 年に「中地区コミュニティ連絡協議会」が発足し活動してきましたが、組織ができた 40 年前とは地区の状況も変化しており、「組織運営や地区のあり方を見直すチャンス」だと思いモデル地区の取組みを進めてきました。準備委員会では、「農産物加工所の後継者不足を何とかしたい」という意見があがり、こんにやくづくりの後継者育成とともに、地域ぐるみでの新たな活動へと繋がろうとしています。人と人の繋がりを考えていくことが地区のあるべき姿。「遊び心」や「楽しみ」を大切に、焦らず、気長に輪を広げて、活動をしていきます。



木瀬堯后さん
(同準備委員会 委員長)